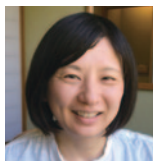


出演者プロフィール

パネリスト



高谷 幸（たかやさち）

東京大学大学院人文社会系研究科准教授
岡山大学、大阪大学教員を経て現職。専門は社会学・移民研究。著書『移民政策とは何か』（人文書院・共著、2019年）、『追放と抵抗のポリティクス』（ナカニシヤ出版、2017年）。



向睦地 昭雄（むかいあぜちあきお）

大阪成蹊大学 大阪成蹊短期大学 教育研究支援統括本部長
大阪府出身。1983年より大阪府立学校教諭として、阿武野高等学校、守口北高等学校、四條畷高等学校に勤務。この間、1996年には1年間の民間企業等派遣研修生として、ダイハツ工業株式会社、阪急電鉄株式会社で学ぶ。2001年より大阪府教育委員会事務局保健体育課、教職員企画課、高等学校課に勤務。
2012年、大阪府立伯太高等学校長、2015年、大阪府立北野高等学校長を経て、2017年より大阪府教育庁教育振興室長、2019年より教育監。2021年より現職。



山口 照美（やまぐちてるみ） 生野区長

兵庫県生まれ。同志社大学文学部卒。塾や予備校の国語教師や管理職を経て起業し、企業や自治体の広報代行や企画に関わる。教育ジャーナリストとしても活動し、2013年4月より民間人校長として大阪市立敷津小学校校長を3年間務めた。大阪市教育委員会首席指導主事を経て、2017年4月から生野区長に就任し、外国籍住民の多いまちで多文化共生施策に取り組む。2020年法務省「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」に関する有識者委員を務める。 Twitter ID: TerumiYamaguchi1



金和永（きむふあよん）

特定非営利活動法人クロスベイス事務局スタッフ/学習支援コーディネーター
大阪大学大学院文学研究科後期博士課程単位修得退学（臨床哲学）。在日コリアン3世と4世のあいだ。6歳から生野区に在住し民族学級で学ぶ。大学生の頃（公財）とよなか国際交流協会と出会い、外国ルーツの子どもの居場所づくりの活動や若者支援事業にボランティアなどとして関わる。
2017年よりNPO法人クロスベイススタッフ。生野という地元につながりなおして、学習支援や体験活動の企画、まちづくりに関わっている。臨床哲学で学んだ対話の場づくりの実践も、いくつかの場所で細々と続けている。



甲田 菜津美（こうだなつみ） 大阪府公立高校国語科教諭

Minamiこども教室実行委員。東大阪JFCの活動にも関わりをもつ。大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻博士前期課程終了。
外国にルーツを持つ児童生徒の対話学習を主とした年少者の日本語教育を研究。ミャンマーでの日本語学校講師、インドネシアのBina Nusantara大学人文学部日本語学科専門講師、北方四島交流事業における国後島日本語講師派遣を経て、2017年より現職。学校教育だけでなく、地域における日本語教育にも携わり続けている。

コーディネーター



金光敏（キムクアンミン）（特活）コリアNGOセンター理事兼事務局長

大阪市生まれ、在日コリアン3世。学校法人白頭学院理事（韓国系民族学校）、NPO法人コレジオ・サンタナ理事（ブラジル学校）。ほかに行政諮問委員、大学非常勤講師。
主な著書に「大阪ミナミの子どもたち～歓楽街で暮らす親と子を支える夜間教室の日々」（彩流社）、「多文化社会を生きる子どもとスクールソーシャルワーク」（共著、かがわ出版）、「Q&Aでわかる外国につながる子どもの就学支援—「できること」から始める実践ガイド」（共著、明石書店）ほか。